

すべての子どもの すこやかな成長のための 水泳環境づくり宣言





Start

はじめに

水泳は、「水に慣れさせたい」「泳げるようにさせたい」「体が丈夫になるように」と子どもに幼児期から始めさせる親がとても多い、子どもに習わせたい人気ナンバーワンの習い事です。また、義務教育の教育課程で必須科目となっており、最も子どもに親しまれているスポーツと言っても過言ではありません。

わたしたちは子どもが最も成長する時期に多くの時間を共有する大人として、単に泳ぎを教えるだけではなく、子どもの成長に十分に配慮しながら、スポーツによる価値を最大限に享受できるような存在でなければなりません。

スポーツの価値の中核は、スポーツを楽しむことによって人間力や社会性、道徳心を養うことができ、心身の健康増進や生きがいに満ちた生き方を実現できることでもあります。わたしたち大人が、人生のスタートラインに立っている子どもたちのために、このスポーツの価値を常に考慮しながら、子どもたちの成長にとって最適な環境を整えることは、わたしたち水泳に携わるものの使命であると考えます。

公益財団法人日本水泳連盟(JASF)は、ユニセフの提唱する「子どもの権利とスポーツの原則」に基づき、水泳に関わる全ての方々を対象とし、「すべての子どものすこやかな成長のための水泳環境づくり宣言」として子どもが享受すべき権利とスポーツの価値を明確に打ち出しました。今後、そのための対策を一層強化することにより、子どもたちが楽しく、安心して、水泳に打ち込めるよう健全なスポーツ環境を実現します。



公益財団法人 日本水泳連盟
会長
鈴木大地

「すべての子どものすこやかな成長のための水泳環境づくり宣言」

1. あらゆる形態の暴力、暴言、ハラスメント、いじめを根絶します

- 指導・練習・競技会等のあらゆる環境において、子どもに対するあらゆる形態の身体的、性的、または精神的な暴力、虐待 ハラスメント、いじめの撲滅達成のため、私たちは子どもとその保護者や関係者と一緒に活動していきます。

2. 子どもたちの心身の健康を守ります

- 年齢や成長に応じたトレーニングの種類や強度、指導法やそれに伴うリスクに最大限に配慮します。
- 子どもの成長過程や第二次性徴に配慮した指導環境を整備します。
- 子どものメンタルヘルスケアを重視・促進します。
- スポーツ障害や外傷の予防に努めます。
- スポーツ医・科学の見地から、子どもたちをあらゆるドーピングから守ります。
- 適切な栄養、健康的な食事および医薬品に関する情報を提供します。

3. 子どものバランスの取れた成長を最優先し、学びの機会の確保や学業を重視します。

- 競技会における結果や成果に過度に囚われず、努力することの喜びや、心技体の調和、友情や連帯感など、スポーツの本質及び価値を重視します。
- 子どもとの対話を重視し、思考能力、判断、意思決定を醸成する環境の確保に努め、子どもの意見を尊重します。
- 子どもたちが学業や遊びの時間を確保する環境を整備します。
- 水難事故防止対策としての水泳の教育を継続して実施していきます。
- 水泳を通じて社会性及びコミュニケーション能力の向上を育みます。



「すべての子どものすこやかな成長のための水泳環境づくり宣言」

4. 子どもにとって安心安全な施設・環境整備を提案します

- プール公認規則に則り、安心と安全に配慮したプール施設を維持し、JASFとして公認し、推奨します。
- 水泳に使用される施設、用具・器具類及びシステムの適切な運用・開発について提案していきます。
- 施設環境や社会情勢、防災、地球温暖化対策、感染症対策に配慮し、適切な施設管理の提案及び競技運営に取り組みます。
- 施設のユニバーサルデザイン化を進めていきます。
- 0歳児から安心して利用できるプール環境を整えます。

5. 年齢・性別・障がい・人種等を的確に配慮し、すべての子どもが安心して楽しめる水泳環境を整えます

- すべての子どもが平等に水泳を楽しみ、多様性を認め合うことのできるインクルーシブな水泳環境を目指します。

6. (上記を遵守するために) 資格制度を充実・普及させ、良い指導者を養成します

- 子どもたちが年齢や成長、目的に合った適切な指導を受けることができ、暴力や差別がなく、バランスの取れた健全な成長を促すために基本的な知識と指導力を有する指導者を養成します。

